

赤野井湾再生への小さな環境活動

夢・びわ湖

代表 辻 ひとみ

「活動の拠点を現地に置いて、私たちに何ができるかももう一度考えてみよう」

夢・びわ湖は、平成 17 年赤野井湾の山賀沖を活動拠点に、琵琶湖の中で最も汚濁された水域である赤野井湾の再生を願って、活動を開始しました。

活動を前にして、改めて赤野井湾に立って目についたのが、湖辺に散乱しているゴミの量。とりあえず月 1 回、環境観察とごみ拾いから開始しました。観察していく中で、夏、湖面に咲き広がるハスが冬季には姿がなくなる現状を見て、「ハスが水質に与える影響」について調べることにしました。3 年間の調査を経て、ハスの繁茂地点の湖底にはヘドロが堆積し、COD 値（水の汚れ）も高く、溶存酸素も少なく、ハスのない地点と比較すると、水質、湖底の環境とも生物にとって良くないことが解り、そのデータを市に提供しました。

平成 23 年には県によるハスの刈り取り除去が始められました。ハスが刈り取られ、すっきりとした湖岸には、波が打ち寄せ、小魚が群れていたその光景は今もはっきり目に浮かびます。

平成 24 年、「道頓堀川で水質浄化のために沈めたイケチョウ貝で真珠が育った」という新聞情報から、赤野井湾でも取り組めないか調査を始めました。

まず、貝が湾で生息できるかどうかを調査し、平成 26 年 5 月、イケチョウ貝を初めて赤野井湾に垂下すいかしました。生息することが確認できた平成 26 年 12 月、貝に真珠のもとになる外套膜がいとうまくを入れる手術を実施。翌 27 年 3 月、手術後の状態を確認するために貝を引き上げ、元気で育っていることを確認。現在は 3 か月毎に貝を洗浄し、水質と生育状況を調査しています。真珠ができるまでおよそ 3 年との話。どのような結果がでるか待ち遠しい思いです。

私たちは、琵琶湖の恵みを受けて生活をしています。しかし、人為的な汚濁原因や、水環境に対する無関心さ、外来生物の侵入など琵琶湖の環境は厳しくなっています。もうこれ以上、琵琶湖を汚さないように、琵琶湖の現状に一人でも多くの人が、関心を持っていただき、身近なところから琵琶湖の再生にむけて行動を起こしていただければと願っています。

今年は烏丸半島にハスが全く見られない現象が起こっています。

私達も小さな活動ですが、これからも一つ一つの課題に対して、素晴らしい仲間と赤野井湾の再生に向けて楽しく活動を続けていこうと思っています。

今年度の研究事業です。

今年度の「教育に関する研究」は、教師の子どもへの接し方について、「声かけ」に焦点を当てて行います。

昨年度の研究では「教室環境」について調べました。教室の環境を整えることで、子どもたちが活動しやすくなったり、教師が学習を進めやすくなったりすることがわかりました。この研究の成果物として、『教室環境チェックリスト』を作成しました。¹

さて、「教室環境」は「物」の側面から見た子どもたちへのかかわりでした。今回は、「物」の側面を整えた上で、教師がどのように子どもに関わっていけばよいのかという、「人」の側面から研究を進めます。

具体的には、教師の「声かけ」を改善することで、子どもたちが活動しやすくなるのではないかと思います。昨年度の研究の中でも、研究協力員の教職員が、教室環境を整えた上でよりわかりやすい声かけを考えていました。例えば、廊下の右側を歩くような掲示をした後、「廊下は走りません」と言うよりも、「廊下は歩きましょう」と言うほうが、子どもたちへの指示の入りがよかったということでした。「物」を整えることは、子どもたちが円滑に学習に取り組むための重要なポイントです。しかし、「物」を整えるだけでなく、教師が子どもに対するかかわり方を質の良いものに変えていくことで、より学習に向かうことができると考えました。

今年度の研究の流れは、

- ① 研究協力校の教職員に「声かけの工夫」、「初任者の先生の困りごとの改善策」のアンケートを取る。(6月)
- ② アンケートをもとに、守山市の教職員の「声かけの原則」と「声かけで困っていること(課題)」について整理する。よいと思われる事例は「声かけ変換表」としてまとめて提示する。(8月)
- ③ 「声かけ変換表」の活用と、守山市の教職員の課題の改善案を研究協力校の教職員にアンケートを取る。(9月～11月)
- ④ 「声かけ変換表」の実践報告、修正、および課題の改善案について報告。(11月)
- ⑤ 研究発表大会(2017/2/8(水))にて発表。

の予定となっております。

¹ 『教室環境チェックリスト』は昨年度の研究紀要に掲載し、全教職員に配布しております。今年度は、特別支援教育コーディネーター部会や、初任者研修を受けられた教職員に提供いたしました。さらに便利な、『教室環境チェックリスト電子版』(エクセルファイル)もあります。興味を持たれた方は、教育研究所までご連絡ください。